

**2022年度 ASAFAS**  
**海外エクスプローラープログラム**  
**募集要項(改訂版)**

臨地教育・国際連携支援室

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属次世代型アジア・アフリカ教育研究センターに設置された臨地教育・国際連携支援室（以下、支援室）では、ASAFAS 院生を対象に海外フィールドワーク、語学習得、インターンシップなどを支援します。このプログラムで海外渡航をおこなった場合、研究科正規科目として関連する単位が取得できます（アジア臨地演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、アフリカ臨地演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、グローバル臨地演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、臨地語学演習Ⅰ・Ⅱ）。なお、いったん採択された場合でも、新型コロナウイルス感染症の流行状況や本学の活動方針によって採択を取り消すことがありますので予め了承下さい。

## 1. 概要

主に予備論文提出前の学生が、現地で語学力を向上させたり、基礎的なフィールドワークや資料収集をしたり、技術習得や社会経験としてのインターンシップを実施することを支援するプログラムです。博士予備論文提出後の学生や3年次編入生も応募可能ですが、応募多数の場合、採択の優先度が低くなります。

語学研修を目的として渡航し、現地で語学プログラム等を修了した学生は「臨地語学演習」科目の単位の対象となり、それ以外の目的で渡航した学生は「アジア臨地演習」、「アフリカ臨地演習」もしくは「グローバル臨地演習」科目の単位の対象となります。単位の取得には履修登録が必要ですが、詳細は教務掛にお問い合わせください。

本プログラムの滞在費は、日本学生支援機構（以下、JASSO）の海外留学支援制度（協定派遣）奨学金により支給します。また航空運賃の一部を『海外拠点の機能強化による「アジア・アフリカ地域対応の高度グローバル人材育成」事業』より支給します。なお、アフリカの一部の大学（エジプトを含む、詳しくは後述）への派遣については、航空運賃・海外旅行保険料などの全額を『大学の世界展開力強化事業（アフリカ）』より支給します。

## 2. 応募締切（「**エントリー**」と「**本申請**」を別々におこなう必要があります！）

### Web エントリー：

出国時期に関わらず 4 月 27 日（水）正午（日本時間）厳守

本申請： 出国時期によって締切時期が異なります

#### 第 1 次募集

対象：7 月 1 日～7 月 31 日までに出国を希望する **2 回生以上の院生**

**4 月 27 日（水）正午（日本時間）厳守 →5 月 2 日までに採否を通知**

#### 第 2 次募集

対象：8 月 1 日～8 月 31 日までに出国を希望するすべての院生

**6 月 1 日（水）正午（日本時間）厳守 →6 月 6 日までに採否を通知**

#### 第 3 次募集

対象：9 月 1 日以降に出国を希望するすべての院生

**7 月 6 日（水）正午（日本時間）厳守 →7 月 11 日までに採否を通知**

## 3. 応募資格

### (1) 本研究科に在籍する大学院生

休学中の学生、日本学術振興会特別研究員および京都大学大学院教育支援機構プログラムから給付型奨学金を受けている学生は申請できません。ただし、休学中の学生で、派遣時までに復学する予定の者は、申請を認める場合があるので、申請前に支援室にその旨を相談して下さい。また、**アフリカの一部の大学への派遣については、『大学の世界展開力強化事業（アフリカ）』によって支援されるため、京都大学大学院教育支援機構プログラムの給付型奨学金を受給している学生も申請することができます。**

他団体のプログラムによる支援や研究助成を受けている院生も応募できますが、他プログラムの支給月額が、JASSO 奨学金の支給月額を越える場合には、JASSO 奨学金を受給できません。不明な点については、個別に支援室に相談してください。

### (2) 渡航にあたって適切なカウンターパートがある学生

JASSO 奨学金を受給する場合、大学等の研究機関に所属するカウンターパートが必要になります。カウンターパートとは、渡航期間中は密に連絡を保ち、研究の状況等を報告してアドバイスを受けるよう心掛けてください。

### (3) 新型コロナウイルス感染への対策が考慮されていること

**本申請の期日までに指導教員から専攻長に必要書類を必ず提出してください。** 新型コロナウイルスへの適切な感染対策を講じることを求めます。地域の流行動向や本学の活動方

針その他の事情を勘案して採択を見送ったり、採択を取り消したりすることがあります。

下記のリンクより「新型コロナウイルスに対する本学の方針について－海外渡航等を中心とした対応について」内の「大学間学生交流協定等に基づく派遣留学等について」を熟読し、確認してください。

参考：新型コロナウイルスに対する本学の方針について－海外渡航等を中心とした対応について

<https://www.nansei.kyoto-u.ac.jp/adm/bbs/%e6%96%b0%e5%9e%8b%e3%82%b3%e3%83%ad%e3%83%8a%e3%82%a6%e3%82%a4%e3%83%ab%e3%82%b9%e3%81%ab%e5%af%be%e3%81%99%e3%82%8b%e6%9c%ac%e5%ad%a6%e3%81%ae%e6%96%b9%e9%87%9d%e3%81%ab%e3%81%a4%e3%81%84-12>

## 4. 支援内容

### (1) 対象となる渡航

アジア・アフリカ地域の1か国で実施する語学研修、フィールドワーク、およびインターンシップ。出発日は2022年7月1日以降になりますが、帰国日に関しては、渡航期間が1年（12ヶ月）以内であれば2023年4月1日以降になっても問題ありません。

### (2) 対象となる経費

月額滞在費、および航空運賃の一部。月額滞在費は、原則として表1に定めるとおりです。ただし、滞在期間等に応じて、調整する場合があります。

表1 JASSOの定める月額滞在費（アジア・アフリカ地域）

地区	月額滞在費	地域名・都市名
指定都市	100,000円	アビジャン、アブダビ、クウェート、シンガポール、ジッダ、リヤド
甲地方	80,000円	中近東（アブダビ、クウェート、ジッダ、リヤドを除く）
乙地方	70,000円	カンボジア、香港、インドネシア、大韓民国、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナム、東ティモール
丙地方	60,000円	アジア（カンボジア、ラオス、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマー、マレーシア、インドネシア、大韓民国、東ティモール、フィリピン、香港を除く） アフリカ（アビジャンを除く）

### (3) 現地滞在期間

32日以上1年（12ヶ月）を超えない期間という定めがあります。本プログラムでの派遣終了後に滞在を続けること、または派遣前に当該国に滞在していることは原則認められません。また、本プログラムでの派遣前後に、他のプログラムによって第三国に滞在すること（乗り換えのための経由地は除く）は原則できません。

#### (4) 渡航先

原則としてアジア・アフリカ地域の1か国のみ滞在とします。表2・表3に掲載された国・派遣先を優先的に採択します。また、表3に掲載された大学への派遣については、『大学の世界展開力強化事業（アフリカ）』から、航空運賃・海外旅行保険料などの全額を支給します。派遣先の情勢によっては、派遣できない場合があります。外務省の海外安全ホームページなどを参照し、渡航情報を確認し、指導教員ともよく相談したうえで、渡航先を決めてください。

表2

	派遣地域区分	都市名	派遣先大学等（高等教育機関等）	
			英語名称	日本語名称
インド	丙	デリー	U of Dheli	デリー大学
インドネシア	乙	ジャカルタ	U of Indonesia	インドネシア大学
インドネシア	乙	マカッサル	Hasanuddin U	ハサヌディン大学
ラオス	乙	ヴィエンチャン	National U of Laos	ラオス国立大学
マレーシア	乙	バンギ	National U of Malaysia	マレーシア国民大学
マレーシア	乙	クチン	U Malaysia Sarawak	サラワク大学
ミャンマー	乙	イエジン	Yezin Agricultural U	イエジン農業大学
ネパール	丙	カトマンドゥ	Tribhuvan U	トリブバン大学
フィリピン	乙	マニラ	Ateneo de Manila U	アテネオ大学
タイ	乙	バンコク	Kasetsart U	カセサート大学
タイ	乙	バンコク	Chulalongkorn U	チュラロンコーン大学
ベトナム	乙	ハノイ	Vietnam National U	ハノイ国家大学
ヨルダン	甲	アンマン	The U of Jordan	ヨルダン大学
トルコ	甲	イスタンブール	Marmara U	マルマラ大学
アラブ首長国連邦	甲	アル・アイン	United Arab Emirates U	UAE 大学
カメルーン	丙	ヤウンデ	U of Yaunde I	ヤウンデ第一大学
カメルーン	丙	ンガウンデレ	U of Ngaoundere	ンガウンデレ大学
エチオピア	丙	アジスアベバ	Addis Abeba U	アジスアベバ大学
ガボン	丙	リーブルビル	Omar bongo U	オマール・ボンゴ大学
ガーナ	丙	ケープコースト	U of Cape Coast	ケープ・コースト大学
ガーナ	丙	レゴン	U of Ghana	ガーナ大学
ケニア	丙	ナイロビ	U of Nairobi	ナイロビ大学
マダガスカル	丙	アンタナナリボ	U of Antananarivo	アンタナナリボ大学
セネガル	丙	ダカール	Cheikh Anta Diop U	シェーフ・アンタ・ジョップ大学
タンザニア	丙	ザンジバル	Zanzibar U	ザンジバル国立大学
タンザニア	丙	モロゴロ	Sokoine U of Agriculture	ソコイネ農業大学
ウガンダ	丙	カンパラ	Makerere U	マケレレ大学
ボツワナ	丙	ハポローネ	U of Botswana	ボツワナ大学
ナミビア	丙	ウインドフック	U of Namibia	ナミビア大学

アゼルバイジャン	乙	バク	Azerbaijan Diplomatic Academy	アゼルバイジャン外交大学
ウズベキスタン	乙	タシケント	the Academy of the Sciences of Uzbekistan	ウズベキスタン共和国科学アカデミー
グルジア	乙	トリビシ	Ilia State U	国立イリア大学
ルワンダ	丙	ブタレ	Protestant Institute of Arts and Social Sciences	プロテスタント人文社会科学大学

表 3

	派遣地域区分	都市名	派遣先大学等（高等教育機関等）	
			英語名称	日本語名称
エチオピア	丙	アジスアベバ	Addis Ababa U	アジスアベバ大学
エジプト	丙	カイロ	Cairo U	カイロ大学
ウガンダ	丙	カンバラ	Makerere U	マケレレ大学
タンザニア	丙	モロゴロ	Sokoine U of Agriculture	ソコイネ農業大学
コンゴ民主共和国	丙	キンシャサ	U of Kinshasa	キンシャサ大学
ガーナ	丙	アクラ	U of Ghana	ガーナ大学
マダガスカル	丙	アンタナナリボ	U of Antananarivo	アンタナナリボ大学
ザンビア	丙	ルサカ	U of Zambia	ザンビア大学
ボツワナ	丙	ハボローネ	U of Botswana	ボツワナ大学
カメルーン	丙	ヤウンデ	U of Yaoundé I	ヤウンデ第1大学
ケニア	丙	ナイロビ	Jomo Kenyatta U of Agriculture and Technology	ジョモケニアッタ農工大学
南アフリカ	丙	プレトリア	U of Pretoria	プレトリア大学
南アフリカ	丙	ステレンボッシュ	U of Stellenbosch	ステレンボッシュ大学
ルワンダ	丙	ブタレ	Protestant Institute of Arts and Social Science	プロテスタント人文・社会科学大学

\* カイロ大学とジョモケニアッタ農工大学については、支援室に要確認。

## 5. 申請方法（Step 1「エントリー」と Step 2「本申請」があります）

### Step 1 エントリー

**出国時期に関わらず、4月27日（水）正午（日本時間）までに Web エントリーを済ませてください。**エントリー時には確定した予定でなく、仮の予定であっても構いません。**エントリーしていない場合には本申請ができません。**

Web エントリー： <https://forms.gle/vUTQjhE7z4aTVXtg8>

### Step 2 本申請

次に出発日に応じた**締め切り期限**までに**本申請**をおこないます（締切は2ページ目参照）。

①本申請の基本的な内容を「**Web 登録**」してください (**Web エントリーとは異なります**)

We 登録 : <https://forms.gle/8CjeKiEpZBcbuQkn8>

②下記のリンクより研究計画書様式をダウンロードし、この様式に沿って研究計画書を完成させてください。

研究計画書様式 : [https://jisedai.asafas.kyoto-u.ac.jp/download/2022\\_exp\\_apply\\_jp/](https://jisedai.asafas.kyoto-u.ac.jp/download/2022_exp_apply_jp/)

③旅行代理店 2 社から渡航に関する日程表と見積りを取得してください。

④ **研究計画書と日程表と航空券の見積り** (2 社分) をメールにて支援室 (shien-app@asafas.kyoto-u.ac.jp) に送信することで申請が完了します。

- ・書類を送付する際のタイトルは「**Research Proposal for Overseas Explorer Program (your name)**」 ( e.g. **Research Proposal for Overseas Explorer Program (Sarina.Koga)**) としてください。
- ・必ず大学のオフィシャルアドレスから送付してください (大学のアドレスでない場合は受け取れない場合があります)。
- ・添付ファイルには、 **literary\_1**、 **Quotation\_1**、 **literary\_2**、 **Quotation\_2**、 **Research\_Proposal\_(your name)** 【e.g. **Research\_Proposal\_(Sarina.Koga)**】 と名前をつけてください。

**期限までに Web エントリーを済ませていない学生の本申請は受理されません。** また、出発日に応じた**締め切り期限以降**に送付された研究計画書等も受理されませんので注意してください。

**採択後に備えて下記の JASSO 登録用書類をあらかじめ準備しておくようにしてください。**

エクスペローラープログラムのウェブページ

[https://jisedai.asafas.kyoto-u.ac.jp/program/p\\_cat/explorer/](https://jisedai.asafas.kyoto-u.ac.jp/program/p_cat/explorer/)

## 6. 選考基準

提出された書類に基づいて審査を行います。申請書の様式に則っていない場合や提出書類の不足がある場合には本申請を受理しません。また、必要に応じて、面接審査を行う場

合があります。

審査にあたっては、**自身の研究や将来設計に活かすことができるか、問題意識をもって遂行できるか、具体的な研究計画を提示できるか、派遣先地域で適切な活動をおこなえるか**といった点を考慮します。加えて、次の審査基準が適用されます。

#### (1) 語学力基準

2 年次以上の学生で、過去に関連語学科目群（本研究科共通科目）を履修したものは、その成績が A 判定であること。1 年次の学生で、申請時に関連語学科目群を履修しているものは、担当教員から中間評価を聞き取り、A 判定相当とされること。

関連語学科目群を履修していない者であっても、各種語学検定試験（アジア・アフリカ言語だけでなく、英語、仏語、スペイン語、ポルトガル語、中国語等）を受験したことがあるものは、その成績を個別に判定します。

また、海外での業務や研究調査の経験等も語学力を認定する指標としています。不明な場合は個別に支援室に相談してください。

#### (2) 学業基準

2 年次以上の学生は、前年度の成績評価係数が 2.30 以上であることが基準になります。1 年次の学生は、基本的には大学在籍時の最終年度の成績に基づいて判断されます。その他、事情がある場合には個別に支援室に相談してください。

#### (3) 家計基準

本人及び配偶者の年間収入の合計が、博士予備論文提出前学生は 536 万円以下、提出後学生は 718 万円以下であること。ただし、これは目安ですので、事情がある場合は、支援室に相談してください。

## 7. 採択後の手続き

#### (1) 派遣前説明会への出席

申請書が採択されたら、必ず「**派遣前説明会**」に参加して下さい。派遣前説明会の日程は応募者にメールで通知します（**採択決定通知の翌日に開く可能性があります**）。やむを得ず参加できない場合は支援室に申し出て下さい。

#### (2) JASSO 登録用書類の提出

申請書が採択された日から以下の期日までに次の書類を支援室に提出して下さい（平日の 10 時から 16 時の間に支援室に持参して下さい）。期日までに書類の提出がない場合、滞在費（JASSO 奨学金）の支給ができなくなります。**採否の通知から期日まで時間がありますのであらかじめ準備しておくようにして下さい。**

- 第1次募集 5月18日(水)  
第2次募集 6月15日(水)  
第3次募集 渡航する月によって締切が異なります。

9月渡航	7月19日(火)
10月渡航	8月12日(金)
11月渡航	9月12日(月)
12月渡航	10月12日(水)
2023年1月渡航	11月10日(木)
2月渡航	12月8日(木)
3月渡航	1月12日(木)

・成績証明書(学業成績表)

・収入証明書

※収入証明書は、定職がない場合には「課税証明書」を提出してください。定職がある場合で、給与取得者は、前年度の源泉徴収票のコピーを提出してください。定職があり、給与取得者以外は、確定申告時の「確定報告書(第一表と第二表)(控)」の写し(税務署の受付印があるもの)、または「申告内容確認票」の写しを提出してください。

・家計基準に係る家族状況確認票(申請が採択された方に配布します)

・新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航についての誓約書(申請が採択された方に配布します)

## 8. 渡航中の提出書類

1か月にいちど「在籍確認書(本人確認用)」に必要事項を記入して支援室/世界展開力事務局に提出(メール送信)する必要があります。在籍確認書の書式および提出方法については、エクスプローラープログラムのウェブページに掲載します。

また、到着後2週間以内に緊急連絡先となる電話番号も支援室/世界展開力事務局お知らせください。

## 9. 報告書の提出義務

帰国後に①エクスプローラープログラムの報告書を提出していただきます。JASSOで派遣された場合には、別途②JASSO向けの報告書(様式H-1)も提出していただきます(「留

学前回答分」を記入しておいてください)。未提出者は、**エキスプローラープログラムをはじめ支援室の各種プログラムに応募できません**。報告書の書式はエキスプローラープログラムのウェブページに掲載します。

## 10. その他注意事項

- (1) 申請書の提出にあたっては、指導教員とよく相談して下さい。
- (2) 申請された書類は選考委員会で検討し、結果を通知します。選考委員会から旅程等の変更をアドバイスされた場合は、再度検討・修正した研究計画書を提出してください。
- (3) エクスプローラープログラムによる渡航は、同一年度内は1回に限ります。ただし、国際研究発信力強化プログラムと併願することは可能です。
- (4) 申請が採択された後で、日程や渡航先を変更することは原則としてできません。やむをえない事情で変更を希望する場合は、事前に必ず支援室に相談してください。ただし、大幅な変更をおこなった場合には採択が取り消される場合もあります。
- (5) 研究・研修以外の目的での旅行と組み合わせることはできません。
- (6) ビザなどは各自で手配してください。
- (7) 渡航前に必ず必要書類を教務掛・主指導教員・所属専攻事務室に提出すること。特に、海外旅行傷害保険については、治療・救済費用として支払い無制限を担保するものに必ず加入すること。必要提出書類は、ASAFASのHP(下記)を参照。**これらが守られない場合には、支援を取り消します。**  
  
\* <http://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/edu/Overseas/>
- (8) また、現地の大使館への「在留届」も必ず提出してください。「在留届電子届出システム(ORRnet)」(<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>)からも提出可能です。
- (9) 一定の家計基準を満たす渡航者に対して、滞在費(JASSO奨学金)とは別にJASSO渡航支援金が支給されます。おもな家計支持者の所得(父母から仕送りを得ている場合には父母の所得)が、「給与所得のみの世帯で年間収入金額(税込)が300万円以下」「給与所得以外の所得を含む世帯で年間所得金額(必要経費等控除後)が200万円以下」で、渡航支援金の支給を希望する方は、支援室まで問い合わせてください。なお、申請の際には住民票が必要になります。

※エキスプローラープログラムの申請に関する問い合わせはメールにて支援室まで。

[shien@asafas.kyoto-u.ac.jp](mailto:shien@asafas.kyoto-u.ac.jp)



川端キャンパス内アジア・アフリカ地域研究研究科・東南アジア地域研究研究所共同棟 1 階

支援室の場所が変わりました。ご注意ください。